

“ 綺季 ”

伊東佑季 contrabass

黒沢綾 piano, vocal

土屋絢子 vocal

2025 10月13日 (祝月)

開場 14:30

開演 15:00

(2ステージ入替無) (1drink=600)

MC=3700+2drinks order

CAFE **BEULMANS**

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



土屋絢子

国立音楽大学音楽学部音楽学科卒業ジャズを基本に多くのコンテンポラリーな企画、バンドで voice (歌詞のない声だけのパート) としてライブやレコーディングで活動中。一方で日本語の曲にも定評があり、オリジナルやカバー曲も歌ってみたなどで配信している。また映画音楽 BGM、CM や企業アートのコーラスにも多数参加。自身のバンド Qioetronica クワイエトロニカの『懐かしい未来』2022 年 12 月に全国リリース。また、ジャズピアニストビルエバンスにまつわる企画 Bill Evans Songbook も活動中。その他に、ジャズとクラシックをハイブリットにブレンドされた自己の作詞によるユニット「ことは、と」アルバム【白をまよえ】2017 年 (Pf: 津嘉山梢 Wb: 伊東佑季) ヴィブラフォニスト山下真理のオリジナル曲中心によるユニット「Tayu Tou」にボイスとして参加、アルバム【TayuTou】2018 年 (Vib: 山下真理 Gt: 福富博 Ds: 則武諒) などがある

伊東佑季

北海道旭川市出身。JMIA ジュニアジャズオーケストラとの出会いをきっかけにジャズを始める。同バンドのメンバーとしてチックコリアやエドシグペン等との共演を果たす。洗足学園音楽大学入学後、Berklee College of Music の World Scholarship Audition を受け、全額奨学金を受賞し渡米。卒業後、NY を拠点に活動。日本にも来日した NY を拠点に活動するバンド "BANDA MAGDA" のベーシストとしても活動していた。帰国後は都内を中心に活動。現在は、栗林すみれトリオ、土屋絢子 (vo) ・津嘉山梢 (pf) とのトリオ "ことは、と"、山本玲子 (vib) とのデュオユニット "te-te" 等のバンドを中心に活動。トランベッターの高澤綾とも頻りに双頭リーダー企画を行なっている。また、自身でもビックバンドのライブを企画するなどリーダーとしての活動も積極的に行なっている。ジャズベーシストとしての活動以外にも、作編曲家として幅広いジャンルの音楽を提供しており、ジャズだけにとらわれない作品作りにも力を入れている。また、吹奏楽や学生ビックバンドの指導を行うなど後進の指導にも力を入れている。

黒沢綾

幼少よりクラシックピアノ、作曲、クラシック声楽を学ぶ。尚美学園大学 JAZZ&POPS コースに入学後、自然な流れでジャズに傾倒。在学中よりプロとして活動をスタート。同コースを首席で卒業。ジャズシンガーとして着実にキャリアを重ねながら、オリジナル曲を制作。2009 年アルバム『うららか』、2013 年『Twill』をリリース。ソングライターとして確かな実績を持つ。ジャズを軸とした音楽性、欲びに満ちたサウンドスケープ、透明感あるクリスタルヴォイスが特徴で近年は器楽的なヴォイス・プレイヤーとしてジャズ・コンテンポラリー作品に参加。参加作品は、栗林すみれ『Pieces of Color』、千葉史絵『Beautiful Days』、岸淑香『feat. 手』等。また paris match のサポートコーラスを 2011 年から務め、コンサートやツアーに参加。ジャズ番組のナレーターやセレクターとしても活動中。相撲と着物とジャズをこよなく愛す和洋折衷シンガー。